

履歷書

小林象三

明治廿六年十月廿日生

本籍地

北海道後志國岩手郡岩内町

學業

明治四十年四月 北海道廳三小樽中學校 入学
 明治四十五年三月廿九日 同中學校 卒業
 明治四十五年四月 廣島高等師範學校 入学
 大正五年三月廿日 同英語部 卒業

免許狀

師範學校中學校高等女校
 修身科 教育科 英語科
 教員免許狀ヲ受ク

大正五年三月廿日 廣島高等師範學校研究科 入学

大正五年八月十五日 同科退學

大正五年八月十五日 京都帝國大學文科大學(英文科) 入学

大正八年七月十三日 京都帝國大學文學部 卒業

大正八年九月六日 京都帝國大學大學院 入学 目下研究中

右之通り也

大正九年一月一日

小林象三

和三五五号

卒業證書

印

小野色

小林 宗三

京都帝國大學文學部に於て文學科
ヲ修メ卒業シ卒年一タリ仍テ之ヲ證書ス

大正八年七月十三日

京都帝國大學文學部教授長 小樽高等商業學校 代理 渡部

京都帝國大學文學部 教授長 渡部 謙三

小樽高等商業學校

茲ニ其卒業證書ヲ授与ス

京都帝國大學 教授長 渡部 謙三 代理 渡部 謙三

第三五五號

卒業證書

北海道

小林象三

京都帝國大學文^学科部ニ於テ文學科ヲ修メ
其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

大正八年七月十三日

京都帝國大學文^学部部長

從四位勳三等文學博士藤代頼輔

京都帝國大學文學部長ノ證明ヲ認了シ茲ニ
ニ卒業證書ヲ授與ス

京都帝國大學總長

正四位勳二等醫學博士荒木寅三郎

同	八二二	昭和廿一年勅令第二六三號 に上り資格と判定される	二十四號下賜	同	北海道地區學校 長官委員
同	二二二	勅令第九三三號に上り又勅令九三三號に依り叙せらる	三級俸下賜 官吏俸給令改正	文部省	
同	一九一	官制改正 小學校ト改稱 學科ト改稱		賞勳局	
同	一六五	敘從四位		宮内省	
同	一四二		滿洲國へ出張ヲ命ス	同	
同	一三八		四級俸下賜	文部省	
同	一三四	敘勳五等授瑞寶章		賞勳局	
同	一一一	敘正五位		宮内省	
同	八二二	敘勳六等授瑞寶章		賞勳局	
同	一〇一三		五級俸下賜	同	
同	六二四		歸朝 滿洲途次昭和七年四月八日迄滞在 ノ件ヲ追認シ學術研究手當トシテ 一〇八圓ヲ給ス	同	
同	四二五				
同	七二〇		昭和六年六月一日ヨリ家族 手當年額六〇五圓ヲ給ス 在留期間ヲ昭和七年三月三十一日迄短縮ス	同	
同	六六一	敘從五位		宮内省	
同	一一一	盛敘高等官三等		内閣	
同	一一九		伊太利國及亞米利加合衆國 ヲ在留國ニ追加ス	同	
同	一六		出 發	同	
同	一五		在留中家族手當年額六七五圓 ヲ給ス	同	
同	一五		英文學及語學教授法研究ノ爲滿二 ノ年間英吉利國ニ在留ヲ命ス	同	

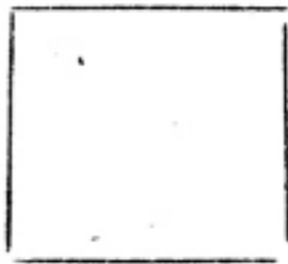
同 二 二	六 一 一	一級官を以て待遇する	昭和廿二年十二月十二日附 官秘一三四號により特別昇給	
同 二 二	九 三 〇		二十五號奉を給する	文部省
同	一 二 三 一		二十六號奉を給する	同
同 二 二	一 一 一		昭和廿三年法律第四六號により改正	
			十三級一號奉を給する	同
			昭和廿三年法律第九五號により改正	
同	一 二 一		十三級一號奉を給する	同
			政府職員の新給與實施に關 する法律第十條の規定に基 き左の再計算により十三級 一號奉を給する	
			二二二一十三級一號 (17000圓)	
			六一十三級一號 (21000圓)	
			二二二一十三級一號 (21695圓)	
同 二 二	三 一	大學設置委員會に於て新制大學の 教授としての資格審査済	十三級二號奉を給する	
同	六 三 〇	カ橋高知大を教授に補する		
		兼ねてカ橋高知大を教授に補する		
		清見高知大を教授に補する		
			十三級二號奉を給する	
	一 〇 一 五	一級に陞給する		

第三五五號

卒業證書

北海道

小林象三



京都帝國大學文學部ニ於テ文學科ヲ修メ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

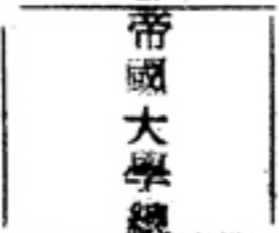
大正八年七月十三日

京都帝國大學文學部長 從四位勳三等文學博士 藤代禎輔 印

小樽經濟專門學校

京都帝國大學文學部長ノ證明ヲ認了シ茲ニ卒業證書ヲ授與ス

京都帝國大學總長 正四位勳二等醫學博士 荒木寅三郎 印



71

文 部 省
人 事 異 動 通 知 書

人事院様式 113

1. 氏名(フリガナ) コバヤシ ショウメイ 小林 象三		2. 性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	整理番号 6-13		
3. 生年月日 昭和26年10月5日		作成日付 昭和24年10月20日			
4. 異動種目 昇 任		6. 任命(懲戒)権者またはその委任を受けた者の官職氏名印 文部大臣 高 瀬 莊太郎			
5. 発令日付 昭和24年10月15日		7. 根拠法規 則8-1			
8. 旧 新					
北海道小樽市緑町	3. 所 在 地	△ 左			
小樽商科大学	9. 所 属 部 課	△ 左			
文部教育(1)待遇 教授	10. 職 名 職 級 名	文部教育(1) 教授			
15-2(13058)	11. 俸 給	△ 左			
上記のとおり発令になりました。					
12. 備考 人事院承認年月日 昭和24、10、15					
13. 官職の分類 新 設 既 設 改 訂		15. 処 理			
		A	B	C	D
		H 付	-	-	-
14. 予算科目		係 印			

履 歷 書

北海道後志國岩内郡岩内町

北海道

小林 象 三

明治二十六年十月五日 日生

年 月 日	學 業 官 職 賞 罰 等	當該官衙等
明治四十五年三月十九日	北海道廳立小樽中學校卒業	
同 四月 八日	廣島高等師範學校入學	
大正五年三月廿五日	同校英語部卒業	
同 同	師範學校中學校高等女學校修身科教育科英語科教員免許 狀受ク	
同 同	廣島高等師範學校研究科入學	
同 八月十五日	同科退學	
同 同	京都帝國大學文科大学(英文科)入學	
同 八年七月十三日	同文學部卒業	
同 九月 六日	京都帝國大學大學院入學	
同 九年四月	同大學院退學	
同 十 日	講師トシテ英語ノ授業ヲ囑託シ報酬一箇年八百圓交付	小樽高等商業學校
同 九月廿二日	自今報酬一箇年壹千四百四拾圓交付	同
同 十年八月十五日	任小樽高等商業學校教授	内 閣
同 同	敘高等官七等	同
同 同	十級俸下賜	文 部 省
同 十月十日	敘從七位	宮 内 省
同 十一年十月廿七日	九級俸下賜	文 部 省
同 十二年九月十八日	陸敘高等官六等	内 閣
同 十一月三十日	敘正七位	宮 内 省

小樽高等商業學校

同 十三年三月 七日	八級俸下賜	文 部 省
同 十四年十一月三日	七級俸下賜	同
同 十二月廿一日	陞敍高等官五等	内 閣
同 十五年一月十五日	敍從六位	官 内 省
昭和三年五月一日	陞敍高等官四等	内 閣
同 六月一日	敍正六位	官 内 省
同 八月四日	六級俸下賜	文 部 省
同 五年二月三日	英文學及語學教授法研究ノ爲滿二箇年間英吉利國ニ在留ヲ命ス	同
同 二月六日	在留中家族手當年額六百七拾五圓ヲ給ス	同
同 三月廿九日	出 發	同
同 十一月廿一日	伊太利國及亞米利加合衆國ヲ在留國ニ追加ス	同
同 十二月一日	陞敍高等官三等	内 閣
小樽高等商業學校		
同 十二月十五日	敍從五位	官 内 省
同 六年六月一日	昭和六年六月一日ヨリ家族手當年額六百五拾圓ヲ給ス	文 部 省
同 七年三月十日	在留期間ヲ昭和七年三月三十日迄短縮ス	同
同 四月廿五日	歸 朝	同
同 六月廿四日	歸朝途次昭和七年四月八日迄滞在ノ件ヲ追認シ學術研究手當トシテ壹百八圓ヲ給ス	同
同 十月十九日	五級俸下賜	同
同 八年十一月二日	敍勳六等授瑞寶章	賞 勳 局
同 十一年二月一日	敍正五位	官 内 省
同 十三年一月十四日	敍勳五等授瑞寶章	賞 勳 局
同 十三年一月廿八日	四級俸下賜	文 部 省
同 十三年七月十二日	滿洲國へ出張ヲ命ス	同
同 十六年二月十五日	敍從四位	官 内 省

同十九年	四月一日	官制改正	小樽經濟專門學校ト改稱	
同	四月十二日	敍勅四寺授勲賞章		實勳局
同廿一年	三月卅一日	三級降下賜		文部省
同	七月一日	官吏俸給改正		同
同		二十三號降下賜 (一三〇〇圓)		同
同		昭和二十一年十二月廿三五〇號ニ依リ是正		同
同		二十四號降下賜		同
同	八月十二日	北海道地區學校兼團教員適格審査委員會ニ於テ適格ト判定		同
同廿二年	六月十一日	一級目を以テ待遇スル		内閣
同	九月三十日	昭和廿二年十二月廿二日附官秘一三四號ニ依リ特別昇給		
同		二十五號俸を給スル		文部省
同	十二月卅一日	二十六號俸を給スル		同
同廿三年	一月一日	昭和廿三年法律第四六號ニ依リ改正		
小樽經濟專門學校				
同		十三級一號俸を給スル		
同	六月一日	昭和廿三年法律第九五號ニ依リ改正		
同		十三級一號俸を給スル		
同	十二月一日	政府職員の新給與實施に關スル法律第十條の規定に基キ左の再計算ニ依リ十三級一號俸を給スル		
同	一月一日	十三級一號俸を給スル		
同	六月一日	十三級一號 (一九一〇〇圓)		
同	十二月一日	十三級一號 (一二六九五圓)		
同廿四年	三月卅一日	十三級二號 (一三〇五八圓)		
同廿四年	六月三十日	小樽商科大學教授に補スル		内閣
同		兼ねて小樽經濟專門學校教授に補スル		